

主な取組 令和4年度の実績

目 次

基本目標 1	1
具体的な施策 1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する	2
具体的な施策 2 機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める	7
具体的な施策 3 20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する	9
基本目標 2	11
具体的な施策 1 雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する	12
具体的な施策 2 地域経済を活性化させる企業活動を支援する	14
具体的な施策 3 若い世代の市内企業への就職を支援する	16
基本目標 3	19
具体的な施策 1 結婚への第一歩となる出会いと交流の場を創出する	20
具体的な施策 2 妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する	21
具体的な施策 3 子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する	28
基本目標 4	31
具体的な施策 1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する	32
具体的な施策 2 市民生活における安心・安全の向上を図る	39
具体的な施策 3 魅力的な生活圏を形成する	45
具体的な施策 4 自主・自立のまちづくりを推進する	49

【基本目標 1】

地域の魅力発信・人材交流と都市機能
の向上により、活気に満ちたまちをつ
くる

～転入促進～

基本目標 1						
具体的な施策 1 関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する						
主な取組 ① 都市間交流の促進						
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
国内友好都市との訪問団の受入れ及び派遣を行うとともに、国内友好都市との交流事業を行う市民団体に補助金を交付し、民間交流の活性化を図ります。	国内交流推進事業	①糸満市平和教育（語り部）訪問団を受入れた。 ・語り部1人、随員1人 ②あばしり七福神まつりへ経済交流訪問団を派遣した。 ・観光協会1人、職員2人 ③糸満市バスケットボール交流訪問団を受入れた。 ・小学生40人、監督、保護者等10人 ④あばしりオホーツク流氷まつりへ市民訪問団を派遣した。 ・公募市民11人、職員2人 ⑤横手の雪まつりへ代表訪問団を派遣した。 ・友好交流委員会2人、職員等3人	国内友好都市との交流活動件数	件	7	19
海外友好都市等との訪問団の受入れ及び派遣を行うとともに、海外友好都市等との国際交流事業を行う市民団体及び市内大学に補助金を交付し、民間交流の活性化を図るほか、海外学生等のホムステイを受け入れます。	国際交流推進事業	①NZ男子バスケットボールチームのキャンプを受入れた。 ・選手等 25人 ②NZとのオンライン交流を実施した。 ・市内保育園 3回 ③韓国軍浦市へ代表訪問団を派遣した。 ・職員 3人 ④韓国軍浦市から代表訪問団を受入れた。 ・軍浦市職員 4人 ⑤アメリカニューブリテン市へ代表訪問団を派遣した。 ・友好交流委員会 1人、職員等3人 ⑥NZ短期留学プログラムを実施した。 ・公募高校生 10人、職員 3人 ⑦揚州市とのオンライン交流を実施した。 ・本市高校生13人、揚州市高校生30人	海外友好都市等との交流活動件数	件	2	13
自治体相互が連携し、より一層の市民サービスの向上につながる取組を行うとともに、近隣市町村と共通する行政課題等の解決に向けた調査・研究を行います。	広域都市連携推進事業	①厚木・愛甲まちづくり研究会を開催し、パートナーシップ宣誓制度自治体間連携協定を締結した。 ②県央相模川サミットを開催し、カーボンニュートラル推進に向けた共同宣言を行った。	都市間連携の実施件数	件	50	50
近隣の自治体や観光協会、関係団体等と協働し、広域連携による観光プロモーションを行うことで、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図ります。	広域連携観光推進事業	広域行政連絡会観光推進専門部会（厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村及び関係団体）において連携を強化し、厚木市観光協会のホームページにコンテンツを設け、エリアとしての観光PRを推進した。 また、丹沢大山観光キャンペーン推進協議会において、PR動画（秦野市、伊勢原市、小田急電鉄）を作成し、インターネット上で公開した。	大山エリア（厚木市・伊勢原市・秦野市）の観光消費額（年間）	千円	13,092,965	21,792,730
			宮ヶ瀬エリア（厚木市・愛川町・清川村）の観光消費額（年間）	千円	6,834,488	15,311,490

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ②	観光地の魅力創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
産業と観光の振興を図るとともに、市民のふれあいを深めるため、「あつぎ鮎まつり」や「あつぎ飯山桜まつり」など、魅力ある観光イベントを開催します。	観光行事推進事業	①第76回あつぎ鮎まつりを開催した。 ・開催日 令和4年11月5日(土) ・開催場所 相模川河川敷三川合流点、厚木中央公園、なかちょう大通り・厚木一番街 ・来場者数 18万人 ②あつぎ飯山桜まつりは雨天のため中止した。 ・開催日 令和5年3月	観光消費額(年間)	千円	6,290,170	14,454,002
豊かな自然や温泉等の既存の観光資源を活用するとともに、地域団体や事業者との協働により、新たな観光資源を創出し、地域の活性化を図ります。	観光資源活性化事業	①森林など豊かな自然環境を有効に活用するために作成したサイクリングのモデルルートを活用し、デジタルスタンプラリーを実施した。 ・参加者 370人 ②本市のアウトドアフィールドの優位性を広く周知するため、アウトドアイベントを開催した。 ・参加者 約3,000人 ③地域と共同で地域資源を活用した花の里づくりを推進するため、花の育成に必要な消耗品を購入した。 ④地域の観光資源活性化を図るために、活動する団体に対し、費用の一部を補助した。 ・交付団体 2件	飯山・七沢地区の延べ観光客数(年間)	人	933,324	1,239,525
市内の観光施設や飲食店などの受入環境を整備することで、訪れた観光客の満足度向上を図り、リピーターを含む観光客の拡大に繋がります。	受入環境整備事業	旅行客の受入環境を向上させるため、一般社団法人厚木市観光協会が実施する「講演会及びバスセミナー」に対し、費用の一部を補助した。 また、新たな観光資源となりうる「不動の滝」周辺地域について、新たな観光ルートとしての可能性を調査・研究し、商品化に繋げるために必要な事項をまとめた。	市内の延べ観光客数(年間)	人	1,081,007	2,487,409
飯山地区及び七沢地区において、自然と温泉等の観光資源をいかした「森林セラピー事業」や「健康づくり大学」を実施し、観光客の増加を図ります。	健康づくり村推進事業	厚木市観光協会が実施する事業に対し、費用の一部を補助した。 ・森林セラピーツアー開催回数 4回 ・健康づくり大学開催回数 7回	健康づくり大学参加者のうち、満足した人の割合	%	100.0	90.0
			森林セラピーツアー参加者のうち、満足した人の割合	%	100.0	90.0

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ②	観光地の魅力創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
飯山白山森林公園桜の広場を中心とするエリアについて、観光拠点としての機能強化に向けた整備を進めます。	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	庫裡橋から白山山頂までの現況測量を実施した。 また、飯山白山森林公園桜の広場周辺整備検討委員会を2回開催し、整備内容について検討を行った。	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備の進捗状況	—	工事・測量・実施設計	現況測量を実施
			庫裡橋から飯山白山森林公園桜の広場までの整備の進捗状況	—	—	検討会を開催
			白山ハイキングコース及び白山展望台周辺整備の進捗状況	—	—	検討会を開催
近隣の自治体や観光協会、関係団体等と協働し、広域連携による観光プロモーションを行うことで、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図ります。	広域連携観光推進事業	広域行政連絡会観光推進専門部会（厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村及び関係団体）において連携を強化し、厚木市観光協会のホームページにコンテンツを設け、エリアとしての観光PRを推進した。 また、丹沢大山観光キャンペーン推進協議会において、PR動画（秦野市、伊勢原市、小田急電鉄）を作成し、インターネット上で公開した。	大山エリア（厚木市・伊勢原市・秦野市）の観光消費額（年間）	千円	13,092,965	21,792,730
			宮ヶ瀬エリア（厚木市・愛川町・清川村）の観光消費額（年間）	千円	6,834,488	15,311,490

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ③	あつぎの魅力の発信力強化					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
本厚木駅及び愛甲石田駅周辺等にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し、イベントや観光情報、市からのお知らせなどの情報を発信します。	デジタルサイネージ設置事業	中町第2-2地区などへの設置に向けた検討を進めた。	デジタルサイネージの中町第2-2地区等への整備の進捗状況	—	調査・研究	調査・研究
市の広報番組をケーブルテレビで放送するとともに、イベントや市政情報等をテレビ・ラジオの情報番組を通じて、市内外に広く発信します。	映像メディア活用事業	①ケーブルテレビで市の広報番組を作成、放映した。 ・1日3回（各15分）、月2回、年間24回放映、65番組を作成 ②tvk情報番組「猫のひたいほどワイド」（毎週月曜～木曜、12:00～13:30、生放送）の自治体情報提供コーナー「猫ひたインフォ」でPRを行った。 ・1日2回（各3分）、月2回、年間24回放映 ③FMヨコハマ「ラブリーデー」（毎週月曜～金曜、9時～12時）の自治体情報コーナー「エリアナビ」でPRを行った。 ・1回3分（毎月第1・3火曜）、月2回、年間24回放映	映像メディアによる広報が効果的と感じた人の割合	%	80.0	67.6
若い世代で構成する組織において、住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業を実施し、あつぎの魅力を全国に発信します。	あつぎの魅力創造・交流事業	①雑誌やインスタグラムにおける広告掲載、小田急電鉄車内におけるドアステッカー広告掲載を行い、広く厚木の魅力をPRした。 ②市内において、CHiKaフェス2022開催時に対面でのあつぎの魅力を感じるイベントとして#niceatsugiパーティを実施し、シビックプライドの醸成及び定住促進を図った。 ③婚活ツアーを実施し、結婚を希望する市民の皆様に対し、出会いの場を提供した。	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じる事ができた」と思う事業参加者の割合	%	88.4	98.4
			事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	100.0	76.0
「浜の活力再生プラン」に基づき、アユの保護やアユを活用した六次産業化等の取組を、相模川の流域市町村及び内水面漁業関係者と連携し支援します。	浜の活力再生プラン推進事業	浜の活力再生プラン（第2期）に基づき、漁業収入の向上や天然アユの保護及び漁場の環境整備に取り組んだ。	天然アユ遡上数	尾	2,039,700	8,027,000

具体的な施策 1	関係人口を創出し、あつぎの魅力を全国に発信する					
主な取組 ③	あつぎの魅力の発信力強化					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
魅力ある観光資源を市内外に広くPRするため、パンフレットの作成や各種メディア、SNSを活用した情報発信を展開し、観光客の誘致拡大を図ります。	観光プロモーション事業	<p>①観光PR動画を作成し、ツイッター、フェイスブック及びインスタグラムで配信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーチ数 ツイッター 4,571 フェイスブック 2,024 インスタグラム 1,182 <p>②ハイカー向け観光マップをリニューアルし、観光施設に配架した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 10,000部 <p>③大山ケーブル駅構内にPR電飾看板を設置し、大山からの誘客促進を図った。</p> <p>④交通事業者と連携した事業を実施する、厚木市観光協会に対し、費用の一部を補助した。</p> <p>⑤タクシー事業者と連携し、周遊型観光の促進を図った。</p> <p>⑥小田急電鉄（株）と連携しPR動画の放映やB1サイズのポスターを作成した。</p> <p>⑦観光プロモーションのツールとしてマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を活用した、啓発物品を作成した。</p> <p>⑧本市の魅力となる優れた食を「あつぎ食ブランド」として認定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定件数 4件 	厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	回	121,087	101,795
「厚木市景観計画」に基づき、建築物の景観誘導を推進するとともに、市内における景観の魅力発信を行います。	景観形成推進事業	<p>市内の景観資源を発掘し、ソーシャルネットワークにより情報発信することができた。</p> <p>また、厚木の魅力（まちの景観）について、厚木市民情報提供システム「スマ報」からの投稿が数多く寄せられた。</p>	厚木市民情報提供システム「スマ報」による厚木の魅力（まちの景観）投稿件数	件	126	127

具体的な施策 2	機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める					
主な取組 ①	都市機能の向上					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
本厚木駅やアミューあつぎ、バスセンターなど、市街地の主要施設を結ぶ導線となる地下道の活性化を図ります。	地下道活性化事業	①本厚木駅前東口地下道活性化実行委員会に事業を委託し、次の内容を実施した ②CHiKaフェス2022を開催した ・参加者数 2日間延べ2万人 ③市民提案事業を実施した ・8団体8事業延べ26日 ④イメージアップ事業を実施した ・柱巻き1か所	事業実施時の地下道の通行量	人/日	0	9,942
駅周辺や公共施設などで容易にインターネットに接続できる衆無線LAN (Wi-Fi)を整備します。	公衆無線LAN整備事業	公衆無線LAN環境の新規整備検討と既存箇所の管理運用を行った。 サービス提供エリア：28か所 Atsugi Free Wi-Fi利用実績(※令和5年3月31日現在) ・登録者数 : 149,670人 ・利用者数(累計) : 1,739,846人	無線LAN (Wi-Fi) 整備箇所数 ※カッコ内は総数	か所	14 (28)	検討
家(第1の場所)と職場や学校(第2の場所)との間にある第3の場所「サードプレイス」の創出をコンセプトに掲げている中町第2-2地区周辺において、あらゆる世代の皆様にとって居場所となる複合施設の整備及び厚木バスセンターの再整備を進めます。	中町第2-2地区周辺整備事業	令和3年度から実施していた複合施設基本設計業務を令和4年9月に完了し、複合施設整備事業設計施工一括型業務の事業者選定を公募型プロポーザル方式により実施し、受注候補者を決定した。	複合施設整備の進捗状況	—	基本設計	実施設計
			厚木バスセンター再整備の進捗状況	—	再整備計画(案)の検討	—
本厚木駅北口広場に面する街区と駅北口広場の一体的な再整備に向けた取組を行います。	本厚木駅北口周辺整備事業	令和3年度設立された再開発準備組合の運営支援をするとともに、複数回の会議及び先進事例視察を開催し、今後の整備方針等をまとめたまちづくり方針(案)の検討を実施した。	本厚木駅北口周辺整備に向けた進捗状況	—	準備組合設立	整備方針案作成
愛甲石田駅北口広場及び周辺地区の計画的な整備を行い、商業・業務等の都市機能の集積と交通結節点としての機能を強化し、都市拠点を形成します。	愛甲石田駅周辺整備事業	市の附属機関である愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会からの提言書や、パブリックコメントの意見を踏まえて、今後のまちづくりの方針となる愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想を策定した。	愛甲石田駅周辺整備の進捗状況	—	厚木市愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会開催	基本構想策定

具体的な施策 2	機能的でにぎわいのあるまちづくりを進める					
主な取組 ②	商業の活性化					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する優良小売店舗表彰や合同入社式、社員研修会、経営相談などの事業に対し、補助金を交付します。	商工業振興事業	厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。	合同入社式・研修会参加者数	人	39	50
			中小企業相談件数	件	3,350	3,437
中心市街地100ha内の空き店舗に出店する事業者に対する家賃等の補助や、「あつぎ国際大道芸」などの魅力あるイベントを開催するほか、事業者等が実施する各種事業を支援し、まちのにぎわい創出と活性化を図ります。	市街地商業活性化事業	<p>①中心市街地において、空き店舗を活用し、開業する事業者に対し、改装費と家賃の一部を補助した。 ・認定件数 10件</p> <p>②にぎわい爆発あつぎ国際大道芸を開催した。 ・参加者数 約35,000人</p> <p>③あつぎジャズナイトを開催した。 ・参加者数 約4,000人</p> <p>④本厚木駅前北口広場及び南口駅前広場にイルミネーションを設置した。 ・電球数 37,932球</p> <p>⑤市内商業団体が中心市街地の商業活性化を推進する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。</p>	厚木市中心市街地商店街空き店舗対策事業補助金交付申請店舗数	店	18	12
			中心市街地の歩行者数	人	98,282	94,327
			中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	%	29.3	31.2
商店会が協力して行う販路拡大のための事業や厚木市商店会連合会が実施する商業振興事業等に対し、補助金を交付します。	商業活動振興事業	<p>①子育てサポートAYUCO電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。</p> <p>②商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ・補助対象 8商店会9事業</p> <p>③商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。</p> <p>④商店会や個人商店を効果的にPRするために係る経費に対し、補助金を交付した。 ・補助対象 2商店会3事業</p>	子育てサポートAYUCOカード取得率	%	85.2	指標変更
			子育てサポートAYUCOカード取得者数	人	—	10,178
			商店街活性化事業数	事業	6	16

具体的な施策 3	20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する					
主な取組 ①	転入を促進する支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市内の事業所等に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して介護職の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、介護職等有資格者の転入及び復職等に対し、奨励助成金を交付します。	介護職人材確保支援事業	①事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ②市内の介護保険指定事業所等で働く介護職員等がキャリアアップを目指して受講した研修費を事業所が負担した場合、又は個人で負担した場合にその一部を助成した。 ③市内の介護保険指定事業所等に就職又は勤務する市民の方で、転入及び復職等する場合に助成金を、また、奨学金返済の一部を助成した。	介護職等に就職した人数	人	39	42
			キャリアアップ支援事業補助金支給事業所の件数	件	106	105
市内の医療機関に勤務する方に対し、奨学金を利用して看護職や歯科衛生士等の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	看護職等人材確保支援事業	①奨学金を返済している看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 41件 ②市内に転入した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 86件 ③復職した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 4件	奨学金返済助成金支給者数	人	48	41
			転入奨励助成金支給者数	人	93	86
			復職等奨励助成金支給者数	人	1	4
市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	幼稚園教諭確保助成事業	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに奨励助成金を交付した。	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	9	6
			幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	2	2
			幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	1	0

具体的な施策 3	20・30歳代を中心とした若い世代の転入を促進する					
主な取組 ①	転入を促進する支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市内の私立保育施設に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	保育士確保助成事業	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ①奨学金返済助成金 14件 ②転入奨励助成金 7件 ③復職等奨励助成金 2件	奨学金返済助成金支給者数	人	15	14
			転入奨励助成金支給者数	人	0	7
			復職等奨励助成金支給者数	人	5	2
市内に居住する親世帯と近居又は同居するために市外から転入する方に対し、住宅の取得又は増改築費用の一部を補助するとともに、市外から転入する子育て中の若年世帯又は市内に居住する子育て中の若年世帯が、市内に住宅を取得する費用の一部を補助します。	定住促進住宅取得等支援事業	①親元近居・同居住宅取得等支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数 32件 ・転入者 104人 ②若年世帯住宅取得支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数 230件(831人) ・転入者 54件(184人) ・転居者 176件(647人) (内建替え 5件(22人))	親元近居・同居住宅取得等支援事業等による転入者数	人	132	104
			若年世帯住宅取得支援事業による転入者数	人	143	184

【基本目標 2】

働く場を創出し、経済活動が盛んなまちをつくる

～雇用創出～

基本目標 1						
具体的な施策 1	雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する					
主な取組 ①	新たな産業拠点の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
森の里東土地地区画整理事業の施行を促進するため、森の里東土地地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに、施行地区周辺の都市基盤整備を実施します。	森の里東土地地区画整理推進事業	①組合に対して、社会資本整備総合交付金の市負担金を県を経由して交付した。 ②組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する排水路を整備した。	森の里東土地地区画整理事業の進捗状況（C工区）	—	工事	工事
			産業用地創出面積 ※カッコ内は総面積	ha	— (15.2)	— (15.2)
酒井土地地区画整理事業の施行を促進するため、酒井土地地区画整理組合に対する指導、助言及び支援に努めるとともに、施行地区周辺の都市基盤整備を実施します。	酒井土地地区画整理推進事業	①組合に対して、事業費の一部を補助した。 ②組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する道水路を整備した。	酒井土地地区画整理事業の進捗状況	—	工事	工事
			産業用地創出面積	ha	—	—
産業系土地利用を図るため、土地地区画整理事業の事業化に向けた検討に対する指導、助言及び支援を行い、計画的かつ充実した都市基盤整備を推進します。	土地地区画整理推進事業	地権者組織に対して支援を行った。	山際地区（約22ha）の土地地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務
			山際北部地区（約17ha）の土地地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務

具体的な施策 1	雇用の創出に大きな役割を果たす企業の誘致を推進する					
主な取組 ②	企業誘致の推進					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」に基づく奨励措置の適用を受けた企業等に対し、一定の要件の下、奨励金を交付します。	企業立地元気アップサポート事業	①奨励措置を適用した。 ・適用件数 4件（ほか雇用奨励金2件） ②各種奨励金を交付した。 ・企業立地奨励金 10件 ・戦略産業奨励金 1件 ・雇用奨励金 2件 ③新たに本市への立地意向を有する企業の情報を収集し、企業訪問やPR用パンフレットを配布した。 ・企業訪問 37社 ・市内及び市外企業へパンフレット送付 2,000社	企業立地制度適用件数	件	2	9

具体的な施策 2	地域経済を活性化させる企業活動を支援する					
主な取組 ①	中小企業の経営支援					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
<p>中小企業診断士が企業を巡回訪問し、課題解決に向けた相談を実施するほか、見本市等への出展による販路拡大を支援します。</p> <p>また、後継者問題等を抱える市内中小企業が事業を継続するための事業承継に係る経費の一部を補助します。</p>	<p>中小企業活性化推進事業</p>	<p>①市内中小企業の巡回訪問を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問件数 50件 <p>②市内中小企業等が販路拡大のため、見本市、フェア及び展示会などに出展した際の費用に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 37件 	<p>企業巡回訪問件数</p>	件	50	50
			<p>見本市等出展事業補助金交付件数</p>	件	27	37
			<p>事業承継補助金交付件数</p>	件	0	0
<p>製造業を営む市内中小企業及び小規模企業が設備投資に要した費用の一部を補助するとともに、市内中小企業者等が特許等を取得する際に要した費用の一部を補助します。</p>	<p>中小企業イノベーション支援事業</p>	<p>①製造業を営む市内中小企業者が、生産の拡大及び生産の効率化を図るための設備に投資した経費に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 6件 <p>②市内中小企業者の新技術、新製品の保護及び研究開発を奨励するため、国内の産業財産権（特許、実用新案等）の取得に要する費用に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 7件 <p>③製造業を営む市内中小企業が、環境負荷を軽減させる機器等を導入した費用に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 3件 	<p>中小企業設備投資額</p>	千円	269,307	105,954
			<p>特許等出願支援補助金交付件数</p>	件	7	7
			<p>中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数</p>	件	—	3
<p>地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する優良小売店舗表彰や合同入社式、社員研修会、経営相談などの諸事業に対し、補助金を交付します。</p>	<p>商工業振興事業</p>	<p>厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。</p>	<p>合同入社式・研修会参加者数</p>	人	30	50
			<p>中小企業相談件数</p>	件	3,350	3,437
<p>特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業等に低利な融資を行うことで、経営の安定化を図ります。</p>	<p>中小企業事業資金融資事業</p>	<p>①特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業者に低利な融資を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 274件 <p>②厚木市中小企業融資制度（事業資金（運転・一時）、経営近代化資金（運転）を除く）、神奈川県中小企業制度融資の創業支援融資、日本政策金融公庫取扱いの小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を利用した市内中小企業が、金融機関へ支払った利子に対し、利子補給金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 811件 <p>③厚木市中小企業融資制度、神奈川県創業支援融資を利用した市内の中小企業者が、神奈川県信用保証協会へ支払った保証料に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 244件 	<p>中小企業融資件数</p>	件	303	274
			<p>中小企業資金融資利子補給金交付件数</p>	件	777	811
			<p>中小企業信用保証料補助件数</p>	件	240	244

具体的な施策 2	地域経済を活性化させる企業活動を支援する					
主な取組 ①	中小企業の経営支援					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
新規開業のために必要な資金の融資を受けた市内創業者に対し、利子補給を行うとともに、開業手続きの実務や事業計画の作成について学ぶ「あつぎ起業スクール」を開催します。	ビジネスチャレンジャー支援事業	①日本政策金融公庫から創業融資を受けた市内創業者に対し、利子補給金を交付した。 ・交付件数 7件 ②あつぎ起業スクールを開催した。 ・開催日数 6日 ・修了者数 50人	創業者支援利子補給金交付件数	件	3	7
			あつぎ起業スクール修了者の起業家数	人	0	4
先進的な技術を有し、ロボットの製造・開発を行っている企業等の取組を紹介するとともに、企業等によるロボット研究、製品開発、製品の改良及び市場開発に係る経費の一部を補助します。	ロボット産業推進事業	①ロボット関連産業等促進事業補助金を交付した。 ・交付件数 3件 ②ロボットの動作の実演や講義を通じて、ロボットに親しむ機会を提供し、ロボットの動く仕組みや扱い方について、正しい知識を身に付けるため、ロボットリテラシー事業を実施した。 ・参加人数 605人 ③市におけるロボット関連事業への支援、企業及び大学の取組を他市町村や企業等に広く周知し、本市のロボット関連事業を含めた魅力をPRするため、あつぎ生まれのロボット発信事業を実施した。 ④ロボットを始めとした先進技術に関する講演会に外部講師を招いて、市民を対象に実施した。 ⑤厚木市青少年発明コンクール入賞作品を具体化した試作品を製作・発表し、子どもたちにもものづくりの楽しさを実感していただき、理科や科学への興味や関心を向上させるため、ATSUMO発明実現プロジェクトを実施した。	ロボット関連補助金交付件数	件	1	3
			ロボットリテラシー事業への参加者数	人	658	605

具体的な施策 3	若い世代の市内企業への就職を支援する					
主な取組 ①	市内企業への就職支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市内の事業所等に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して介護職の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、介護職等有資格者の転入及び復職等に対し、奨励助成金を交付します。	介護職人材確保支援事業	①事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ②市内の介護保険指定事業所等で働く介護職員等がキャリアアップを目指して受講した研修費を事業所が負担した場合、又は個人で負担した場合にその一部を助成した。 ③市内の介護保険指定事業所等に就職又は勤務する市民の方で、転入及び復職等する場合に助成金を、また、奨学金返済の一部を助成した。	介護職等に就職した人数	人	39	42
			キャリアアップ支援事業補助金支給事業所の件数	件	106	105
市内の医療機関に勤務する方に対し、奨学金を利用して看護職や歯科衛生士等の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	看護職等人材確保支援事業	①奨学金を返済している看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 41件 ②市内に転入した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 86件 ③復職した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 4件	奨学金返済助成金支給者数	人	48	41
			転入奨励助成金支給者数	人	93	86
			復職等奨励助成金支給者数	人	1	4
市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	幼稚園教諭確保助成事業	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに奨励助成金を交付した。	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	9	6
			幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	2	2
			幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	1	0

具体的な施策 3	若い世代の市内企業への就職を支援する					
主な取組 ①	市内企業への就職支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市内の私立保育施設に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	保育士確保助成事業	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ①奨学金返済助成金 14件 ②転入奨励助成金 7件 ③復職等奨励助成金 2件	奨学金返済助成金支給者数	人	15	14
			転入奨励助成金支給者数	人	0	7
			復職等奨励助成金支給者数	人	5	2
国の農業次世代人材投資資金制度を活用し、青年新規就農者に資金を交付するとともに、就農後の営農定着を促進するための支度金を交付します。	新規就農者支援事業	国の農業次世代人材投資資金を19人、新規就農支度金を3人に支給した。前年度からの継続者16人、新規3人。 青年等就農計画認定者数は、累計で29人となった。	認定新規就農者数（累計）	人	34	38
市内の企業に勤務する方に対し、奨学金を利用して大学に通学していた方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、各種セミナーや講座を実施するとともに、就職支援や各種相談事業を実施します。	就労対策事業	①障がい者又は高年齢者を1年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付した。 ・障がい者雇用交付件数 39件 ・高年齢者雇用交付件数 64件 ②市内在住かつ在勤の奨学金返還者に対し、奨学金返還の一部を補助する助成金を交付した。 ・交付件数 120件	障害者雇用奨励交付金交付件数	件	39	39
			高年齢者継続雇用奨励補助金交付件数	件	67	64
			勤労者奨学金返済助成金交付件数	件	58	120
職人の技と伝統を伝え、若年者の職業選択の機会を拡大するため、市内外への広報活動を実施するほか、職業訓練校に対する支援として補助金を交付するとともに、技能職団体の活動を支援し、技能後継者の育成や優れた技能の継承等を図ります。	技能振興事業	①職業訓練校に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 1件 ②職人の技と伝統を伝え若年者の職業選択の機会を拡大するため、技能教室を開催した。 ・参加者数 33人	技能教室参加者数	人	0	33

【基本目標 3】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる
ことができるまちをつくる

～合計特殊出生率上昇～

基本目標 3						
具体的な施策 1	結婚への第一歩となる出会いと交流の場を創出する					
主な取組 ①	出会いの場や交流の場の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
結婚への第一歩である新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を実施します。	あつぎの魅力創造・交流事業	①雑誌やInstagramにおける広告掲載、小田急電鉄車内におけるドアステッカー広告掲載を行い、広く厚木の魅力をPRした。 ②市内において、CHiKaフェス2022開催時に対面でのあつぎの魅力を感じるイベントとして#niceatsugiパーティを実施し、シビックプライドの醸成及び定住促進を図った。 ③婚活ツアーを実施し、結婚を希望する市民の皆様に対し、出会いの場を提供した。	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	%	88.4	98.4
			事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	100.0	76.0

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ①	妊娠・出産への支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
母子保健法に基づく健康診査や保健指導等を実施するほか、全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、ニーズに対応した妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない相談体制の充実を図ります。	母子保健衛生事業	①母子健康手帳の交付 ・交付件数 1,301件 ・妊娠届出者1,222件のうち妊娠11週以下で届け出した件数：1,037件	妊娠届出率 (妊娠11週以下)	%	87.6	84.9
		②各種健康診査受診者数 ・妊婦歯科健康診査 464人 ・妊婦健康診査 14,806人 ・産婦健康診査 1,739人 ・新生児聴覚検査 1,081人 ・4か月児健康診査 1,247人 ・8～9か月児健康診査 1,260人 ・1歳6か月児健康診査 1,439人 ・2歳6か月児歯科健康診査 996人 ・3歳6か月児健康診査 1,449人	う蝕のない3歳児の割合	%	89.8	92.5
医療保険の対象とならず、高額な医療費を要する特定不妊治療（顕微授精・体外受精）に要する費用の一部を助成します。	不妊治療費助成事業	令和4年4月1日から保険適用になった特定不妊治療（体外受精又は顕微授精）について、保険適用前に治療を開始した等で保険対象にならなかった市内に在住する夫婦に対し、治療費の一部を助成した。 ・助成件数 160件	不妊治療費助成件数	件	219	160

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ②	子育て世帯への支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
発達上何らかの心配のある児童とその保護者への助言や相談、指導を行います。 また、巡回相談や研修会等を実施し、発達障がい理解促進を図ります。	療育支援事業	①発達上何らかの心配のある児童に対し、指導を行った。 ・個別 延べ3,008人 ・グループ 延べ2,001人 ②保護者からの来室・電話相談を受けた。 ・1,369件 ③地域の保育所、幼稚園、小学校及び事業所に向けて巡回相談や研修会等を実施した。 ・巡回件数151件、園訪問70件 ④発達に心配のある子とその保護者に遊びを通じた経験の場や気軽に相談できる場を親子サロンとして提供した。	出張講座、各種研修延べ参加者数	人	1,646	1,486
			経過観察（個別・グループ）支援延べ提供者数	人	4,657	5,009
			親子サロン延べ利用者数	人	2,706	2,730
発達に心配や障害のある児童に対し、発達や成長に合わせた必要な支援等を行うほか、障害児相談支援の実施や市民向け講演会を実施します。	児童発達支援事業	①児童発達支援センター「ひよこ園」において、児童発達支援事業として、1日グループ指導、半日グループ指導及び居宅支援を実施した。 ②保育所等を訪問し、児童の集団生活適応のための支援を実施した。 ③障害児支援利用計画作成及びモニタリングを実施した。	児童発達支援事業延べ利用者数	人	7,899	7,570
			保育所等訪問支援事業利用件数	件	97	97
			相談支援事業利用件数	件	279	228
私立幼稚園に対し、教材費や特別支援教育費、預かり保育事業費等の教育・保育に係る経費の一部を補助するほか、私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付します。	私立幼稚園就園奨励事業	①教育環境の向上を図るため、市内私立幼稚園に対し、各種補助金を交付した。 ・交付件数：17件 ②私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付した。	在園児率	%	58.9	57.6
私設保育施設に入所する児童の保護者に対し、助成金を支給します。	保育内容充実事業	幼児教育・保育無償化の対象外であり、私設保育施設に保育を必要とする児童を4か月以上入所させている保護者に対し、年額3万円を助成した。 ・交付件数：94件	助成件数	人	110	94
子どもを養育している子育て世帯に対し、紙おむつやおしりふきシート等の日常生活用品を支給します。	子育てで日常生活支援事業	児童を養育する世帯に対し、紙おむつ又はおしりふき等を支給した。 【支給延べ件数】 ・第1子 7,602件 ・第2子 5,787件 ・第3子以降 5,497件 ・合計 18,886件	紙おむつ等の支給件数	件	19,635	18,886

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ②	子育て世帯への支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
0歳から中学校卒業までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成します。	子ども医療費助成事業	0歳から中学校卒業までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 【助成延べ件数】 ・県補助分 136,943件 ・市単独分 209,229件 ・合計 346,172件	医療費助成件数	件	335,570	346,172
日々の育児で自分の時間が作れない未就学児を持つ保護者に対し、託児室等において一時的に子どもを預かり、料理教室などの講座で保護者同士が交流する場を設けるなど、リフレッシュできる機会を提供します。	子育てリフレッシュ事業	子育て中の忙しい保護者の方に、リフレッシュしてもらうための託児付きのリフレッシュ講座を全10回開催。 ・参加人数 101人 ・託児人数 95人	子育てリフレッシュ講座開催回数	回	1	10
子育て支援センターにおいて、児童の健やかな成長や家庭に対する総合的な支援を行うほか、「ファミリー・サポート・センター事業」、「ほっとタイムサポーター事業」、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」など、多様な子育て支援を実施します。	子育て支援事業	①子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・子育てサロン室利用人数 61,492人 ・移動子育てサロン利用人数 3,676人 ・相談件数 896件 ・出張相談相談件数 10件 ・子育て講座参加人数 1,172人 ②育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・援助件数 3,270件 ③産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・利用登録者数 97人 ④生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問した。 ・訪問率 100% ⑤あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・託児室わたくも利用件数 2,611件	子育て支援センター利用者数	人	50,237	61,492
			ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	3,609	3,270
			託児室わたくも利用件数	件	2,053	2,611

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ②	子育て世帯への支援の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
<p>商店との協働により、子育て世帯が市内店舗の協力で割引や特典などのサービスを受けることができる子育てパスポート事業を実施します。</p>	商業活動振興事業	<p>①子育てパスポートAYUCO電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。 ②商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ・補助対象 8 商店会 9 事業 ③商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ④商店会や個人商店を効果的にPRするために係る経費に対し、補助金を交付した。 ・補助対象 2 商店会 3 事業</p>	子育てパスポートAYUCOカード取得率	%	85.2	指標変更
			子育てパスポートAYUCOカード取得者数	人	—	10,178
			商店街活性化事業数	事業	6	16
<p>実習材料やクラブ活動に係る消耗品・備品の購入費の一部を公費で負担します。</p>	小・中学校保護者負担軽減事業	<p>保護者の経済的負担を軽減するため、教育活動に必要な教材教具に係る経費の一部を公費で負担した。 【公費負担率】 ・小学校 14.2% ・中学校 20.9%</p>	保護者負担軽減割合	%	18.4	17.6
<p>経済的な理由により就学が困難な児童・生徒や特別支援学級等に就学する児童・生徒の保護者に対し、学用品費などの経費の一部を支給します。</p>	就学支援事業	<p>経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品費などの経費の一部を支給した。 ・就学援助費支給者数 2,839人 ・特別支援教育就学奨励費支給者数 391人</p>	就学援助者の就学率	%	100.0	100.0
			特別支援学級等援助者の就学率	%	100.0	100.0
<p>幼稚園保護者会や市立小・中学校PTA等の家庭教育学級の開設を支援するとともに、家庭教育に必要な情報を提供する講演会等を開催するなど、子育てにいかすことができる情報を提供します。</p>	家庭教育支援事業	<p>①家庭教育学級の開設に対し交付金を交付した。 【交付団体数】 ・私立保育園 1 団体 ・私立幼稚園 9 団体 ・市立小・中学校 21 団体 ・私立初等学校 1 団体 ②家庭教育情報提供講演会を開催した。 ・参加者数 329人 ③「早寝早起き朝ごはん」を啓発するため、公民館だより及び広報あつぎなどに啓発記事を掲載した。</p>	家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	%	97.6	97.1

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ③	子育て環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育に要する費用や預かり保育に要する費用等を認定こども園及び給付型幼稚園に対して支給します。 また、「子ども・子育て支援新制度」に移行した認定こども園に対し、運営に必要な経費や子どもの処遇向上・保育内容充実、園の防犯対策整備に必要な経費の一部を補助します。	子ども・子育て支援新制度事業	①新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、施設型給付費を支給した。 ・支給施設数 市内9園、市外33園 ②新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、一時預かり保育の園児数に応じて補助金を交付した。 ・交付施設数 市内9園、市外10園 ③新制度に移行した認定こども園に対し、在籍園児以外の未就学児童の一時預かり保育児童数数に応じて、補助金を交付した。 ・交付施設数 市内5園 ④認定こども園に移行した幼稚園または2・3号定員を増やした認定こども園に対し、事務に係る経費の一部を補助した。 ・交付施設数 市内7園 ⑤私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、就園に必要な物品等の費用や副食費の一部を補助した。	市内認定こども園数	園	7	7
保護者の就労等により、放課後に帰宅しても適切な保育を受けることができない児童を対象に、小学校の一次的余裕教室等を活用し、適切な遊びと生活の場を提供する放課後児童クラブを運営します。 また、放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブに対し、補助金を交付します。	放課後児童対策事業費	①市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営した。 ②放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付した。	市立放課後児童クラブの入所率	%	91.1	92.6
			地域児童クラブの入所率	%	100.0	100.0
			待機児童対策放課後児童クラブの入所率	%	100.0	100.0
小学校の一次的余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習、様々な体験・交流活動及び地域住民との交流等を行う放課後子ども教室を運営します。	放課後子ども教室推進事業	相川小学校・鳶尾小学校において、通年で教室を実施した。 また、モデル校3校（依知小学校・小鮎小学校・毛利台小学校）において、講座を実施した。	放課後子ども教室実施校数	校	2	5
本厚木駅前のアミューあつぎ8階の託児室を利用し、園児を一時的に預かり、幼稚園へ送迎する幼稚園送迎ステーションを運営します。	幼稚園送迎ステーション事業	働く子育て家庭への支援として、アミューあつぎ8階の託児室「わたぐも」を活用して幼稚園への送迎を行う幼稚園送迎ステーション事業を実施した。	幼稚園送迎ステーションの利用登録園児数	人	51	53

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ③	子育て環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。	幼稚園教諭確保助成事業	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに奨励助成金を交付した。	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	9	6
			幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	2	2
			幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	1	0
新たな保育人材の確保等のため、市内の私立保育施設に勤務する方に対し、助成金を支給するほか、保育施設を運営する法人に対し、保育人材を雇用するための費用の一部を助成します。	保育内容充実事業	①市内民間保育所及び市外保育所への入所児童に係る保育所運営費を委託費として支出した。 ②保育が必要な児童に対して適切な処遇を図るため、届出保育施設、民間保育所及び小規模保育施設を有する社会福祉法人等に運営費補助金等を交付した。 ③私設保育施設等を利用する幼児教育・保育無償化対象保護者に対し、施設等利用費を支給した。 ④地域型保育事業（小規模保育事業・家庭的保育事業）を運営する事業者に対し、保育が必要な児童を受け入れるための経費を支給した。	認可保育所入所児童数	人	2,950	2,976
			小規模保育施設入所児童数	人	240	252
老朽化が進む市立保育所について、配慮が必要な児童の受入れを進めるための高度なバリアフリー化を取り入れるほか、災害時等における緊急的な保育の拠点となる施設として整備します。	市立保育所整備事業	小鮎保育所建て替えをリース方式で行うため、施工業者を決定し、地盤調査、基本設計等を実施した。	市立保育所再整備数	施設	—	—
施設の安全面、機能面を強化し、安心した保育環境を実現するため、老朽化した認可保育所の建て替え、改修等の施設整備に要する費用の一部を補助します。	民間保育施設整備事業	令和4年度取組なし	認可保育所・小規模保育施設整備数	施設	—	—

具体的な施策 2	妊娠から出産、子育て期にわたる支援を充実する					
主な取組 ③	子育て環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
<p>子育てに共通の意識を持つ保護者が、育児に対する知識や技術を高め合いながら共同保育を実施する自主保育グループに対し、運営費の一部を補助します。</p>	コミュニティ保育推進事業補助事業	<p>地域の保護者による自主的な共同保育を実施しているグループに対し、運営費の一部を補助した。 ・交付件数 2 件</p>	コミュニティ保育グループ数	グループ	3	2
			奨学金返済助成金支給者数	人	15	14
			転入奨励助成金支給者数	人	0	7
<p>市内の私立保育施設に就職又は勤務する方に対し、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付します。</p>	保育士確保助成事業	<p>①奨学金返済助成金（14件） ・奨学金を使い保育士資格を取得し、市内私立保育所に就労した保育士に対し、返済費用の一部として助成金を交付した。 ②転入奨励助成金（7件） ・市外から転入し、市内私立保育所に就労した保育士に対し、転入費用の一部として助成金を交付した。 ③復職等奨励助成金（2件） ・復職等により、市内私立保育所に就労した保育士に対し、復職費用の一部として助成金を交付した。</p>	復職等奨励助成金支給者数	人	5	2
			子育て支援センター利用者数	人	50,237	61,492
			ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	3,609	3,270
<p>子育て支援センターにおいて、児童の健全な成長や家庭に対する総合的な支援を行うほか、「ファミリー・サポート・センター事業」、「ほっとタイムサポーター事業」、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」など、多様な子育て支援を実施します。</p>	子育て支援事業	<p>①子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・子育てサロン室利用人数 61,492人 ・移動子育てサロン利用人数 3,676人 ・相談件数 896件 ・出張相談相談件数 10件 ・子育て講座参加人数 1,172人 ②育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・援助件数 3,270件 ③産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・利用登録者数 97人 ④生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問した。 ・訪問率 100% ⑤あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・託児室わたくも利用件数 2,611件</p>	託児室わたくも利用件数	件	2,053	2,611

具体的な施策 3	子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する					
主な取組 ①	魅力ある教育環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
全市立小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語によるコミュニケーション活動を充実させるとともに、他国の文化を学ぶ機会を提供します。	英語教育推進事業	<p>①市立全小・中学校に、英語を母語とする、または、それと同等の英語力をもつ外国語指導助手を配置した。</p> <p>【配置人数】 12人</p> <p>【配置日数】 ・小学校 1,553日 ・中学校 344日</p> <p>②市立小学校においてニュージーランドの学校とのオンライン交流を実施した。</p> <p>【期間】9月～3月 【実施回数】小学校7校、18学級で実施（全て6年生）</p>	「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた児童・生徒の割合	%	91.7	95.1
			「ALTとの授業は楽しい」と答えた児童・生徒の割合	%	93.3	95.2
			「英語でコミュニケーションをとるのは楽しい」と答えた児童の割合	%	79.6	73.7
<p>中学校区において、小・中学校9年間を見通した効果的な教育課程編成及び指導方法の工夫改善の研究や、学力向上につながる研修を実施します。</p> <p>また、児童の中学校に対する不安を和らげるために行う、教員の小・中学校での授業の兼務を円滑にするため、中学校に非常勤講師を派遣します。</p>	小中一貫教育推進事業	<p>①小・中学校間の円滑な接続及び児童・生徒の学力向上に向け、市立全小・中学校を対象に、同一中学校区にある小・中学校を研究グループとして、研究を行った。</p> <p>②中学校教員の小・中学校での授業の兼務を円滑に行うため、中学校に非常勤講師を配置した。</p> <p>【配置人数】 2人</p>	「児童の中学校に対する不安を和らげることができた」と思う学校の割合	%	83.3	94.4
			全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較ポイントの伸び	ポイント	2.8	2.4
各校の重要課題や新たな課題等への対応、地域人材を有効に活用した特色ある学校づくりや教育の資質向上に関する研究活動を推進するため、全市立小・中学校に交付金を交付します。	教育研修・活動助成事業	<p>より良い教育活動の実践や特色ある学校づくりを推進するための必要経費や研究活動費に対し、市立全小・中学校に交付金を交付した。</p> <p>また、市立小・中学校36校でカーボンニュートラルの講座を実施した。</p>	地域人材や講師などが児童・生徒1人に対して関わる人数	人	1.1	1.3
科学への興味・関心を高め、理科好きな児童・生徒の育成を図るため、こども科学賞や企業・大学と連携した「おもしろ理科教室」等を実施します。	SEL教育基金事業	<p>①こども科学賞の作品展示及び授賞式を実施した。</p> <p>②市立小学校において、「おもしろ理科教室」を大学及び企業の協力を得て実施した。</p> <p>・実施回数 27回 ・協力大学数 3校 ・協力企業数 6社</p> <p>③SEL会社見学を実施した。</p> <p>・参加者数 市立中学生 20人</p>	こども科学賞展示会の満足度	%	99.3	99.2

具体的な施策 3	子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する					
主な取組 ①	魅力ある教育環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
安全な教育環境づくりに取り組んでいると認められた学校に与えられる国際セーフスクールの考え方や手法を用い、児童・生徒がより安心・安全に過ごせる学校づくりを支援します。	国際セーフスクール推進事業	①清水小、妻田小、睦合東中学校それぞれにおいて、現地審査を現地及びオンラインのハイブリット形式で実施した。 ②3校合同による認証式をあつぎ市民交流プラザにて実施した。	国際セーフスクール認証取得回数(累計)	回	清水小 4 妻田小 1 睦合東中 2	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3
いじめ、暴力行為等の問題行動や学校を取り巻く課題に適切に対応するため、関係機関と連携したプロジェクトチームを組織し、学校への効果的かつ機能的な支援の充実を図ります。	学校支援プロジェクト推進事業	①児童・生徒の問題行動を解決するため、市立小・中学校への定期訪問を行った。 【訪問回数】 ・小学校 74回 ・中学校 37回 ②プロジェクトチームによる会議を開催した。 【開催回数】 ・小学校 1校 3回 ・中学校 1校 1回	プロジェクトチームの指導により問題行動等が解消・改善した割合	%	60.0	50.0
			定期的な学校訪問が、問題行動の未然防止に向けた児童・生徒指導の充実に効果があつたと評価する学校の割合	%	97.2	97.2
児童・生徒の「確かな学力」の向上を図るため、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を通して、学ぶ意欲を育てるため、全市立小・中学校に学カステップアップ支援員を配置します。	学カステップアップ推進事業	充実した教育活動を推進するため、支援員を配置して学習支援を行った。 【配置人数】 ・小学校 42人(延べ人数43人) ・中学校 30人	「学カステップアップ支援員との協働により、基礎的・基本的な学習の定着や学力向上につながるような授業展開ができた」と思う教員の割合	%	98.9	93.8
			「先生と支援員がいることで、学習が分かりやすく、意欲的に取り組める」と思う児童・生徒の割合	%	95.3	93.4
学校の実態に応じて少人数の学級を編制し、生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うため、非常勤講師を派遣します。	中学校少人数学級実施事業	生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるように、中学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣者数 3人	「生徒の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	98.1	98.2
			「生徒の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	100.0	98.6

具体的な施策 3	子どもたちの夢をかなえる教育プログラムを推進する					
主な取組 ①	魅力ある教育環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
児童指導担当教員等が「チーム支援」の核となり、不登校やいじめ、問題行動等を未然に防止し、早期発見することができるよう、非常勤講師を派遣します。	小学校児童支援推進事業	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるように、小学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣者数 19人	「児童の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	97.5	92.6
			「児童の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	96.4	100.0

【基本目標 4】

誰もが安心して自分らしく生き生きと
暮らせるまちをつくる

～転出抑制～

基本目標 4						
具体的な施策 1 誰もが生き生きと活躍できる場を創出する						
主な取組 ① 市民の健康保持増進						
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
地域包括支援センターにおいて、地域の高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援などを幅広く把握し、適切な保健・医療・福祉サービスや関係機関、制度の利用につなげるなどの支援を行います。	地域包括支援センター運営事業【介護保険事業特別会計】	市内10か所の地域包括支援センターに業務委託し、地域の高齢者の相談を受け、心身の状況や生活の実態を把握し、相談内容に応じた的確なサービス等に関する情報提供や関係機関の紹介等を行った。 ・相談件数 52,172件	地域包括支援センターにおける総合相談件数	件	51,173	52,172
重度な要介護状態であっても、障がいがあっても、一人暮らしでも、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会の実現を目指します。	在宅医療・介護・生活支援推進事業【介護保険事業特別会計】	①地域包括ケア連携センターを設置し、在宅医療・介護連携及び生活支援に関する相談業務を行った。 ②厚木市地域包括ケア推進会議を開催し、専門的な視点から各種取組の研究・検討を行った。 ・会議開催 3回 ③多職種研修会や市民講演会を行い、地域包括ケア社会の実現に向け啓発活動を行った。 ・多職種研修会 全8回 ・厚愛地区医療介護連携多職種研修会 ・地域包括ケア市民講演会・地域福祉推進大会	地域包括ケア連携センターにおける相談件数	件	191	163
			多職種研修会参加者の満足(理解)度	%	97.0	97.6
市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査を実施するとともに、人間ドックの受診費用の一部を助成します。	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	①健診実施医療機関75箇所において、特定健康診査を実施した。 ・対象者数 29,680人(R5.5.22法定報告) ・受診者数 9,374人 ※受診率・R3年度実績値の最終確定値は32.7% ②人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・20歳～39歳助成額25,000円 51人 ・40歳～74歳助成額20,000円 1,382人 ③健康診断等の情報提供者 84人	特定健康診査の受診率	%	32.7	30.6
休日・夜間における救急医療体制を確保するとともに、24時間体制で健康相談や医療機関情報等の提供を行う「あつぎ健康相談ダイヤル24」を実施します。	救急医療事業	①休日夜間急患診療所、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の開設等により、救急医療体制を確保した。 ②あつぎ健康相談ダイヤル24の実施により、安心・安全な医療環境を提供した。	休日夜間急患診療所開設日数	日	365	365
			休日歯科診療開設日数	日	72	24
			「あつぎ健康相談ダイヤル24」による不要不急な救急医療の抑制割合	%	58.6	54.9

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ①	市民の健康保持増進					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
日常生活で運動する機会が少ない障がい者、障がい児及び高齢者を対象に、水浴訓練室の開放や健康づくり教室等を実施します。	健康スイミング事業	新型コロナウイルス感染拡大防止とそれに伴うワクチン接種会場として施設を利用していたこと、及び同じ階のホールの天井改修工事の実施が確定していたことにより施設を利用できなかったため、事業を全面中止した。	健康スイミング事業参加者数	人	0	0
健康あつぎ推進リーダー等の養成や食育推進事業など、健康増進と食育推進を図る各種事業を実施します。 また、各種健診・検診の受診及び健康・食育関連事業への参加者等へポイントを付与し、特典を贈呈する「あゆコロちゃんGENKIポイント事業」を実施します。	健康づくり事業	①各種健診・検診の受診、ウォーキング、市等主催の健康・食育関連事業への参加、健康・食育等に関する個人目標への取組等によりポイントを付与し、抽選で特典が当たる「あゆコロちゃんGENKIポイント事業」を実施した。 ・参加延べ人数 23,569人 ②健康あつぎ推進リーダーによる講座を開催した。 ・17回 参加者数 380人 ③地区食育推進事業を開催した。 ・12回 参加者数 102人	健康あつぎ推進リーダーによる講座の参加者数	人	21	380
			地区食育推進事業参加者数	人	57	102
			あゆコロちゃんGENKIポイント参加者数	人	3,652	9,844
予防接種法に基づく子どもの定期予防接種を実施するとともに、任意予防接種の費用を助成します。	予防接種事業	①定期予防接種を実施した。(区域外接種分込み) ・37,012件 ②任意予防接種 ・風しん一部助成 146件 ・季節性インフルエンザ 13,951件 ③骨髄移植等に対する一部助成 3件	子ども定期予防接種率(子宮頸がんを除く)	%	89.8	96.1
高齢者を対象として、肺炎球菌ワクチン予防接種及びインフルエンザ予防接種を実施します。	(再掲) 予防接種事業	①高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。 ・接種者数 30,337人 ②高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を実施した。 ・接種者数 823人	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	51.0	51.7
がん検診・健康診査・歯科健診・骨粗しょう症検診等の検診事業、健康教育・健康相談・訪問指導等の健康増進事業及びいのちのサポート相談等の自殺対策事業を実施します。	健康増進事業	①各種検診(健診)を実施した。 ・がん検診(施設) 延べ65,082人 ・がん検診(集団) 延べ8,320人 ・骨粗しょう症検診受診者数 183人 ・眼科健診受診者数 83人 ②健康増進事業として健康教育や健康相談を実施した。 ・健康教育参加者数 355人 ・健康相談者数 99人 ③自殺対策として相談事業を実施した。 ・メンタルヘルス相談者数 227人 ・いのちのサポート相談者数 26人	がん検診の受診率	%	22.8	21.7
			がん集団検診の受診者数	人	8,561	8,320
			歯科健康診査の受診者数	人	5,987	6,115

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ①	市民の健康保持増進					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
「健康度見える化コーナー（未病センター）」において、利用者自身による各種健康機器を使った継続的な健康度チェックを可能にするとともに、専門職による健康に関する相談又は助言を行います。	未病施策事業	健康度見える化コーナー（未病センター）を運営した。 【実績】 ・未病センター利用者数 1,938人 ・未病運動講座 744人	未病センター利用者数	人	1,810	1,938
誰でも気軽にニュースポーツを体験できる「スポーツなじみDAY」等を開催するとともに、公益財団法人厚木市スポーツ協会に対し補助金を交付し、スポーツ教室の開催やジュニアの育成等を行います。 また、日本体育大学との連携により、幼児から高齢者まで幅広い世代の体力向上や健康増進を図る事業を実施します。	市民スポーツ推進事業	①スポーツなじみDAY 【参加者数】 ・スポーツなじみDAY 508人 ②（公財）厚木市スポーツ協会が行うスポーツ推進事業に対し、補助金を交付した。 ・競技別市民選手権大会 5,043人 ・スポーツ大会（8大会）3,953人 ・キッズスポーツチャレンジ 36人 ・スポーツチャレンジデー 340人 ・あつぎウオーク 291人 ・スポーツ教室等（37教室）1,272人 ・指導者養成支援事業 258人 ・指導者養成事業 943人 ・選手育成強化事業 1,151人 ・スポーツ人のつどい 231人 ③市民体力向上推進事業「ニュージーランド代表選手によるバスケットボールクリニック with 日体大」を開催した。 【参加者数】 59人 ④市民体力向上推進事業「アテネパラリンピック金メダリスト 高橋勇市選手小中学校巡回講演」を開催した。 【参加者数】 830人（6校8回） ⑤（公財）厚木市スポーツ協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に対し補助金を交付した。 【参加者数】 ・スポーツアカデミー 688人	スポーツ行事の参加者数	人	6,258	14,026
			講師派遣事業の参加者数	人	66	889
			あつぎスポーツアカデミー参加者アンケートの総合的な満足度において「とても満足」及び「やや満足」と回答した人の割合	%	98.0	94.5

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ②	学ぶ場と活躍の場の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
高齢者の就業機会の拡大を図る厚木市シルバー人材センターの運営費を補助します。また、関係機関の連携を強化し、高齢者の多様な就労ニーズに対応した仕組みを構築します。	高齢者生きがい就労事業	シルバー人材センターの運営費に対し、補助金を交付した。	シルバー人材センター会員数	人	1,015	998
高齢者の生きがいづくりや健康づくり等を推進している厚木市老人クラブ連合会の運営費を補助します。	老人クラブ指導育成事業	厚木市老人クラブ連合会に対し、運営事業補助金を交付した。	老人クラブ加入者	人	3,878	3,715
誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流の場としての機能を備え、科学を始めとした学びや体験機能が充実した施設を整備します。	(仮称)未来館整備事業	①(仮称)未来館機能の内装・展示基本設計を実施した。 ②複合施設交流機能基本設計に係るアドバイザー業務委託において、図書館、市庁舎との連携機能について検討し、建物本体の基本設計に反映させた。	(仮称)未来館整備に向けた進捗状況	-	基本設計業者選定	基本設計
外国籍市民が、地域の構成員として共に暮らす社会をつくるため、日本語教室やインターナショナルティーサロンを開催し、多文化共生の推進を図ります。	多文化共生交流事業	①厚木市外国籍市民交流委員会会議を開催した。 ・開催回数 3回 ②日本語教室を開催した。 ・開催回数 194回 ・参加者数 2,479人(延べ人数) ③日本語講師養成講座を開催した。 ・開催回数 全4回 ・参加者数 126人(延べ人数) ④日本語講師ブラッシュアップ講座を開催した。 ・開催回数 全2回 ・参加者数 47人(延べ人数) ⑤インターナショナルティーサロンを開催した。 ・参加者数 85人 ⑥スペイン語の通訳ボランティアを設置した。 ・毎週1回2時間	日本語教室参加者数	人	208	2,479
「市民文化祭」、「市民芸術祭」、「野外彫刻造形展」及び「あつぎミュージックフェスティバル」を開催することにより、市民による多様な文化芸術活動を推進します。	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	①市民文化祭を開催した。 ・参加者数 2,348人 ②野外彫刻造形展を開催した。 ・参加者数(作品出展者数) 305人 ③市民芸術祭を開催した。 ・参加者数(出演者数) 28人 ④あつぎミュージックフェスティバルを開催した。 ・オー디션参加者数 39人	文化芸術事業の参加者数	人	0	2,720

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ②	学ぶ場と活躍の場の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市民が講師となり自主的に講座の企画・運営を行う「輝き厚木塾」を実施するとともに、市内高等学校における「リカレント学習講座」を実施します。	生涯学習振興事業	<p>①輝き厚木塾を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期講座（5月～8月開催） 77講座、受講者数 664人 ・後期講座（10月～1月開催） 79講座、受講者数 638人 <p>②リカレント学習事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚木東高校: いけばな講座 3月開催、受講者数 9人 ③出前講座（4月～3月開催）を実施した。 ・申請時に感染対策を確認した上で講師を派遣した。 ・講座実施数 65件 ・受講者数 1,532人 	輝き厚木塾及びリカレント学習講座の受講者数	人	549	1,311
市内5大学との包括協定に基づく各大学の特徴をいかした教養科目や市の施策・概要等を学ぶ協働科目、市内企業の技術や取組を学ぶ企業科目を実施するとともに、市民活動を始めるための実践科目等を実施します。	あつぎ協働大学開設事業	<p>①教養科目（オンライン講座）を5月～12月に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5大学×5講座 全25講座 受講者数518人（延べ人数） <p>②特別講座（対面講座）を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊の毛はなぜモコモコなのか？（東京農業大学）7月開催 受講者数11人 ・手の技を使って絵本を作ろう！（松蔭大学）8月開催 受講者数5人 ・日本の伝統芸能・講談から学ぶ歴史と文化（湘北短期大学）1月開催 受講者数19人 ・自分に似合う色を探しましょう（湘北短期大学）2月開催 受講者数15人 ・ウマとモルモットと友達になろう（東京農業大学）2月2回開催 受講者数12人 <p>③カーボンニュートラル講座（オンライン講座）を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気の人と考える“カーボンニュートラル”（YouTubeによるオンライン配信）9/20～9/30配信 視聴回数412回 ・SDGs フェスティバル（9/25開催）会場内において動画公開 	あつぎ協働大学受講者のうち、講義全体の評価として「とても満足」、「満足」と答えた人の割合	%	89.4	82.1
各公民館において、各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ推進事業及びスポーツ・レクリエーション推進事業を実施します。	公民館活動事業	各公民館において、社会教育法第20条及び第22条の規定に基づく各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業、スポーツ及びレクリエーション推進事業を実施した。	学級・講座の満足度	%	74.7	69.7

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ②	学ぶ場と活躍の場の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
学習ニーズの多様化への対応及び地域コミュニティの活性化を図るため、生涯学習や地域コミュニティ活動の拠点施設となる公民館を整備します。	公民館整備事業	厚木北公民館の新築工事に向けて基本・実施設計を行った。また、睦合南公民館の整備に向けて検討・協議を行った。	厚木北公民館整備の進捗状況	—	事務所移転解体工事	基本実施設計
			睦合南公民館整備の進捗状況	—	検討・協議	検討・協議
「郷土芸能まつり」や「郷土芸能普及公演」など、郷土芸能の鑑賞の場を数多く提供するとともに、後継者育成のための体験講座や郷土芸能学校を開催します。	郷土芸能事業	①第20回厚木市郷土芸能まつりを実施した。 ・鑑賞人数 308人 ②郷土芸能普及公演(小中学校、公民館等)を実施した。 ・鑑賞人数 1,667人 ③あつぎ郷土博物館公演を実施した。 ・鑑賞人数 33人 ④郷土芸能学校を開催した。 ・受講人数 69人 ⑤郷土芸能出前体験教室を開催した。 ・体験人数 815人 ⑥その他、各団体自主公演等を開催した。	普及公演鑑賞者数	人	3,105	5,172
			体験講座参加者数	人	0	815
			郷土芸能団体新規加入者数	人	4	21
歴史、民俗及び自然に関する資料を収集し、調査研究の成果を資料として後世に残すとともに、展示会や講座を通して市民に公開します。	あつぎ郷土博物館活動推進事業	①特別展示「有孔鍔付土器と人体装飾文の世界」を実施した。 ・7月23日～9月19日 5,806人 ②企画展示「バッタはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力」を実施した。 ・10月8日～12月4日 3,817人 ③企画展示「人形とともに一相模人形芝居の50年」を実施した。 ・1月14日～3月5日 3,625人	あつぎ郷土博物館の入館者数	人	19,228	23,115
市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点となる新中央図書館を整備します。	図書館整備事業	複合施設交流機能基本設計に係るアドバイザー業務委託において、図書館の書架配架計画や各施設の連携サービス導入の検討、ICタグ調達検討等を実施した。	新たな図書館整備に向けた進捗状況	—	基本設計	実施設計準備
			ICタグ導入に向けた進捗状況	—	調達検討	調達検討

具体的な施策 1	誰もが生き生きと活躍できる場を創出する					
主な取組 ③	市民協働の更なる推進					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
自治会長と市長とのまちづくりフリートークや子育てコミュニティトーク、市長の移動談話室等を実施し、市民ニーズを的確に把握するとともに、市民協働によるまちづくりを推進します。	市民対話事業	①自治会長と市長とのまちづくりフリートークを開催した。 ・出席者数 216人 ・意見数 55件 ②市長の移動談話室を開催した。 ・出席者数 17人 ・テーマ数 3件 ③子育てコミュニティトークは中止した。	市民対話等要望対応率	%	82.3	72.7
神奈川県が開発したスマートフォンアプリを活用し、SDGsつながりポイント事業として「まちのコイン」を実施するなど、SDGsの取組を身近に感じられる事業を展開します。	SDGs推進事業	①SDGsつながりポイント事業「まちのコイン」を実施した。 ・登録ユーザー数 2,328人 目標を300人以上上回る登録者数を達成した。 ・一部利用者に対して実施したアンケート結果として、SDGsの理解が進んだと回答された方が85%以上に上るなど、本事業により、市民がSDGsの取組を身近に感じられるようになった。 ②あつぎSDGsフェスティバルを実施した。 ・参加者数 1,200人 ③あつぎSDGsパートナーを登録した。 ・登録者数 65者	「まちのコイン」ユーザー登録者数（総数）	人	1,720	2,328
			「まちのコイン」スポット登録数（総数）	か所	54	61
			「まちのコイン」ユーザーアンケートで「SDGsがよく理解できた」と答えた人の割合	%	90.7	85.3
「厚木市市民協働推進条例」に基づく施策及び取組を行うとともに、市民活動団体との協働により、地域課題の解決を目指す市民協働提案事業を実施します。	市民協働推進事業	市民協働提案事業を実施した。 ・市民提案型事業実施件数 4事業 ・行政提案型事業実施件数 1事業 ・令和5年度実施事業採択件数 3事業	市民協働提案事業の実施件数	件	5	5
各地区地域づくり推進委員会の活動を支援するための補助金を交付するとともに、「厚木市自治基本条例」に規定する地区市民自治推進組織の活動を支援します。 また、「あつぎ市民ふれあい都市宣言」を啓発するため、啓発物品の配布や各種事業に都市宣言の趣旨を反映させる活動等を行います。	コミュニティ推進事業	地域の特性を生かし、活力ある地域づくりを目指した諸事業を展開する15地区の地域づくり推進委員会に対し、補助金を交付した。 また、あつぎ市民ふれあい都市宣言の啓発物品としてウェットティッシュを作成し、窓口等で配布した。	自治会やボランティア等との協働により、よりよいまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	46.4	42.3
市民活動団体等に対し、活動拠点や交流の場を提供するとともに、活動支援や人材育成を行います。	市民活動推進事業	①ボランティア相談を実施した。 ・相談件数 14件 ②ボランティア講座を開催した。 ・講座開催回数 3回 ③市民活動補償制度を運用した。 ・対象事故件数 3件 ④ボランティア団体及び市民活動団体に対し、補助金を交付した。 ・交付団体数 9団体	ボランティアや市民活動への参加の意欲が高まった人の割合	%	100.0	100.0

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ①	防災・減災対策の充実・強化					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
大規模災害発生時における被害を最小限に抑え、市民の生命、身体及び財産を保護するため、震度分布図、液状化分布図、最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップを作成し、全戸配布します。	オールハザードマップ等作成事業	令和3年度事業終了	オールハザードマップの作成・配布	—	作成・配布	—
地震被害想定調査結果等を基に、各地区の災害リスクを洗い出すとともに、その対応策をまとめた地区別防災マップを市民と協働で作成します。	地区別防災マップ作成事業	令和3年度事業終了	地区別防災マップの作成	—	作成(完了)	—
「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に活動する自主防災隊及び避難所運営委員会の育成・強化を図るため、防災資機材等取扱研修会及び市民防災研修会を開催します。	地域防災力強化事業	①防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会及び市民防災研修会を開催した。 ②自主防災隊の防災資機材倉庫の計画的な修繕・移設を行った。	地域防災リーダー等の講習会参加者数	人	17	679
大規模な自然災害の発生に備え、市民一人一人の防災意識の高揚を図り、災害対応力を高めるため、総合防災訓練や防災講習会、地震体験車による震度体験等を実施するとともに、啓発用パンフレット等を配布します。	総合防災訓練等事業	①市及び自主防災隊において総合防災訓練を実施した。 ・参加人数 8,893人 ②起震車による震度体験を実施した。 ・実施件数 51件 ・体験者数 3,661人	防災訓練参加者数	人	3,358	8,893
			防災講習会受講者数・震度体験者数	人	930	3,661
県による崩壊対策工事の対象外となっている地域において、急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事費等の一部を補助します。	急傾斜地安全対策事業	急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事費の一部を助成した。 ・交付件数 4件	相談件数に対する崩壊防止対策工事実施率	%	50.0	55.0
地震等の災害により想定される被害を軽減するとともに、「災害に強いまちづくり」を実現するため、過去の災害から学んだ教訓や対策等を計画に反映させ、現状に即した計画として改定します。	地域防災計画改定事業	災害対策基本法改正による避難情報の変更、南海トラフ地震防災対策推進基本計画の改定、避難所における感染症対策等に対応するため必要な修正を行った。	地域防災計画の改定	—	—	改定

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ①	防災・減災対策の充実・強化					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
防災行政無線を補完する防災ラジオの購入を希望する市民に対し、有償配布を行います。	新型防災ラジオ整備事業	防災ラジオを市民へ有償配布した。 ・ R4 市民有償配布 279台 ・ 2016-2022累計 3,841台	新型防災ラジオ配布台数 (2016-2023年度累計)	台	3,566	3,841
頻発化・激甚化する風水害や切迫する大規模地震への対策など、多様化する災害に対応した都市づくりを推進するため、防災・減災及び復興事前準備の方針と取組を示す「厚木市防災都市づくり計画」を策定します。	防災都市づくり計画策定事業	防災・減災対策や復興事前準備の取組等についての検討内容をまとめ、防災都市づくり計画の素案を作成し、市民参加手続を経て同計画を策定した。	防災都市づくり計画の策定	—	検討	策定
災害リスクの高いハザードエリアからの移転等を希望する市民に対し、除却費等の一部を補助します。 また、「厚木市コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」に定める居住誘導区域内に移転する市民に対し、移転費等の一部を補助します。	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	「厚木市居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業補助金」の補助金額を増額し、チラシの配布や広報紙への掲載等により周知を図った。	危険住宅移転件数	件	0	0
局地的集中豪雨による都市機能等への影響を及ぼす浸水被害の最小化を図るため、本厚木駅周辺に雨水貯留管を整備します。	公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	厚木排水区浸水被害軽減総合計画に基づく貯留管整備を継続して実施し、令和5年3月に完了した。	雨水貯留施設(北地区)整備の進捗状況	—	工事	工事・完成
浸水被害が発生している箇所の雨水管整備を進め、浸水被害の解消を図ります。	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	恩名3丁目、三田、上依知地内において4件の雨水管整備工事を実施した。	浸水対策工事件数	件	3	4
市民が的確な避難行動を選択することができるよう、準用河川における氾濫危険水位等を設定します。 また、治水対策として、流下能力等の機能を保全するため、河川施設や河床整理に関する実施計画を作成します。	準用河川安全対策事業	治水対策として、準用河川恩曾川の一級河川玉川合流点において、堆積土砂の除去工事を行った。 また、厚木市河川等施設維持管理方針に基づき、準用河川善明川の維持管理計画策定に必要な現地調査を実施した。	氾濫危険水位設定箇所数	か所	4	0
			維持管理計画作成河川数	河川	1	—

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ①	防災・減災対策の充実・強化					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
<p>地域防災力の中核として活動する消防団員の活動環境の充実を図るため、安全装備品等を整備します。</p> <p>また、消防活動を後方から支援する厚木市大規模災害サポート隊の充実を図ります。</p>	消防団活性化事業	<p>①消防団員装備品の改善及び消防団安全装備品の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動服 78着 ・防火衣 35着 ・ヘッドライト 520個 <p>②大規模災害サポート隊の体制の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隊員数 64人 <p>(令和5年3月31日現在)</p>	消防団員装備品改善率	%	18.0	81.8
			大規模災害サポート隊隊員数	人	61	64
<p>消防・防災拠点である消防庁舎機能の充実を図るため、施設の整備及び改修を行います。</p>	消防庁舎整備事業	<p>①旧相川分署の解体工事が完了した。</p> <p>②旧南毛利分署の解体工事が完了した。</p> <p>③睦合分署消防訓練場の再整備工事が完了し、新たな訓練施設として訓練用模擬家屋を整備した。</p>	相川分署整備の進捗状況	—	建設・解体工事	解体工事
			南毛利分署整備の進捗状況	—	建設・解体設計	解体工事
			睦合分署消防訓練場整備の進捗状況	—	測量業務・実施設計	解体改修工事・訓練施設設置
<p>複雑多様化、大規模化する災害に的確に対応するため、消防資器材を計画的に整備し、消防力の充実・強化を図ります。</p> <p>また、ウイルスやテロ災害等に対応するための特殊災害資器材を整備し、市民の安心・安全を確保します。</p>	消防資器材整備事業	<p>複雑多様化する災害で消防活動を迅速かつ効果的に展開するため、最新鋭の消防資器材やテロ災害などの特殊災害に対応する資器材を整備し、市民の安心・安全を確保した。</p>	高圧容器（空気ボンベ）更新整備本数	本	25	20
			陽圧式化学防護服整備着数	着	4	4
			消防用ホース更新整備本数	本	50	42

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ②	安心・安全な環境の整備					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
市民生活における様々な悩みや問題を解決に導くため、市民相談員や市職員が相談に応じる一般相談のほか、弁護士や税理士等の専門家による特別相談を実施します。	市民相談事業	①一般相談を実施した。 相談件数 2,457件 ②11項目の特別相談を実施した。 相談件数 947件	市民相談受理件数	件	2,908	3,404
市民安全指導員によるパトロールの実施や、地域において青色回転灯搭載車（青パト）を運用して自主防犯活動を実施する団体に補助金を交付することにより、街頭犯罪の未然防止と地域の自主防犯活動を推進します。	防犯対策事業	①防犯意識の向上を図るため、番屋、移動番屋で防犯用啓発物品の配布をするとともにケータイSOSネットによる防犯情報の配信を行った。 ②防犯パトロール隊による市内巡回パトロールや移動番屋等を実施した。 ・防犯パトロール隊 7人 ③地域の自主防犯活動を強化するため、地域の青パト活動に対し、交付金を交付した。 ・交付団体数 14団体	刑法犯認知件数（暦年）	件	1,131	1,102
			青色回転灯搭載車（青パト）台数	台	98	131
			特殊詐欺被害件数（暦年）	件	10	38
客引き行為等指導員によるパトロール等を実施するとともに、自治会、商店街、警察等との協働による環境浄化パトロール活動を実施し、本厚木駅周辺における体感治安の向上及び犯罪の未然防止を図ります。	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	①あつぎセーフティステーション番屋において、防犯に関する様々な情報を発信し、防犯意識を高めた。 ②番屋配置の客引き行為等指導員10人（ローテーション）による本厚木駅周辺のパトロールを実施して客引き行為等を防止し、公共の場所を安心して安全に利用できる生活環境の確保に努めた。 ③年末年始における街頭犯罪防止特別パトロールを委託により実施した。（5日間） ④本厚木駅周辺環境浄化対策協議会による環境浄化パトロールを実施した。	「本厚木駅周辺の体感治安がよくなった」と回答したケータイSOSネット登録者の割合	%	71.9	44.0
振り込め詐欺、悪徳セールス、架空請求、アポイント電話等の被害から、市民の財産を守るため、迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費の一部を補助します。	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費補助制度について、広報あつぎや自治会の回覧等で周知を図り、申請者に補助金を交付した。 ・交付件数 306件	特殊詐欺被害件数（暦年）	件	10	38

具体的な施策	2 市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組	② 安心・安全な環境の整備					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
自主防犯活動団体（自治会等）が設置する防犯カメラの設置に要する費用の一部を補助することにより、地域の防犯力を強化し、市民の体感治安の向上を図ります。	安心・安全対策整備事業	申請のあった自主防犯活動団体（自治会等）に対し、防犯カメラの設置費の一部を補助した。 ・交付団体数及び設置台数 4団体7台	刑法犯認知件数（暦年）	件	1,131	1,102
			防犯カメラを設置する自主防犯活動団体（自治会等）数	団体	4	4
誰もがいつまでも健康で安心・安全に暮らせるまちを目指し、市民や行政等が協働して事故やけがの予防対策に取り組み、セーフコミュニティ活動を推進します。	セーフコミュニティ推進事業	安心・安全に関する講習会等の実施により、セーフコミュニティの活動を周知するとともに、安心・安全に関する意識の高揚を図った。 ・参加者数 1,070人	セーフコミュニティに関する研修会参加者数	人	885	1,070
			「事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている」と思う市民の割合	%	41.6	37.0
地域の安心・安全に関する課題抽出や対策などを行う研修会やワークショップの開催を支援します。	地域セーフコミュニティ活動推進事業	セーフコミュニティの継続的な推進に向け、セーフコミュニティ総合指導員を地域に派遣して、講習会を実施し、啓発活動を行った。 ・参加者数 371人	研修会の参加者数	人	225	371
			セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	%	94.1	92.0
消費者トラブルに巻き込まれた方への相談業務を行うとともに、消費者トラブルの未然防止を図るため、啓発活動を実施します。	消費生活相談・消費者意識啓発事業	①専門知識を有する消費生活相談員による適切な相談を実施した。 ②成年年齢が引き下げられたことから特に若年層に対する消費者トラブル未然防止の意識啓発を行った。	消費生活苦情相談完結率	%	99.5	100.0
			消費生活に関する講演会・講座参加者及び移動番屋等での啓発者数	人	21,468	7,497
交通安全の啓発や交通指導を実施するとともに、交通安全教育や交通安全指導者の育成、児童・高齢者等への啓発活動を実施します。 また、交通関係団体が実施する交通安全啓発活動等を支援します。	交通安全対策事業	①市内各所で交通安全関係団体による立哨及び啓発活動を実施した。 ②交通安全教育を実施した。 ・保育園等 17園 1,197人 ・小学校 21校 5,045人 ・高校 5校 1,470人	交通事故発件数（暦年）	件	711	617

具体的な施策 2	市民生活における安心・安全の向上を図る					
主な取組 ②	安心・安全な環境の整備					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
<p>幼児や児童、高齢者等を対象に、自転車ヘルメットの購入費用の一部を助成するとともに、一定の要件を満たす方を対象に、幼児2人同乗用自転車の購入費の一部を助成します。</p> <p>また、交通ルール遵守及び交通マナーの向上により一層取り組むため、市内中学生を対象にスケアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室を実施します。</p>	自転車安全促進事業	<p>①自転車ヘルメット購入費用の一部助成を行った。 ・1,684件</p> <p>②幼児2人同乗用自転車購入費用の一部助成を行った。 ・6件</p> <p>③スケアード・ストレイト自転車安全教室を実施した。 ・実施校 東名中・南毛利中・相川中・藤塚中・森の里中</p>	児童の自転車ヘルメット着用率	%	74.1	75.5
			スケアード・ストレイト教育により交通安全に対する意識が向上した生徒の割合	%	100.0	100.0
<p>放置自転車の指導啓発・整理業務、移動保管料の徴収及び移動作業業務を実施し、放置自転車の減少を目指すとともに、良好な生活環境を保持します。</p>	放置自転車対策事業	<p>駅周辺の良好な生活環境の保持及び安全で快適な市民生活を確保するため、放置自転車の回収を行った。</p> <p>・放置自転車の回収台数 657台 (内訳)</p> <p>引取・警察引取 167台 リサイクル 161台 処分済 113台 保管中 216台</p>	放置自転車年間移動台数	台	649	657
<p>児童・生徒の登下校時における安全を確保するため、防犯ブザーを配布するとともに、学童通学誘導員を配置します。</p>	児童・生徒登下校等安全推進事業	<p>①市立各小学校新1年生及び市立各中学校希望者用に防犯ブザーの購入、配布を行った。</p> <p>②通学路の安全確保のため、学童通学誘導員の配置等を行った。</p>	児童の防犯ブザー携帯率	%	88.3	89.6

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ①	快適な生活環境の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
生活利便施設が不足している地域において、スーパーやコンビニエンスストア、診療所などの立地を促進するため、事業者に対し施設整備等に係る費用の一部を補助します。	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	「厚木市生活利便施設立地促進事業補助金」の補助内容を拡充し、周知を図るとともに、スーパー1件及び診療所2件に対する交付決定を行った。	スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	%	79.7	80.4

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ②	利便性の高い交通環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
路線バスを補完する日常生活に必要な移動手段の確保を目的として、地域住民との協働によりコミュニティ交通の導入を検討し、実施します。	コミュニティ交通運行事業	①鳶尾、まつかけ台、みはる野地区で、継続運行を実施するとともに、毛利台地域ではアンケート調査の結果を基に、実証実験を実施した。 ②導入検討地域であるアメニティヒル本厚木にお住まいの住民を対象に日常の移動に関するアンケートを実施した。	コミュニティ交通利用者数	人	2,905	4,053
			コミュニティ交通運行管理事業補助金交付	—	実施	実施
			コミュニティ交通導入検討地区数(累計)	地区	2	3
路線バスの定時性及び速達性の確保のため、バスレーンや信号制御方法の変更等を検討し、路線バスの利便性向上を図ります。	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	国道246号水引交差点付近におけるバス路線の交通混雑の解消に向けて、厚木高校付近から相模大橋付近までの区間において道路交通の整流化を図るため、交通管理者等との協議を行い、中央公園西交差点の信号現示の調整を実施した。	路線バス定時性確保対策	—	調査検討	協議検討
交通事業者に対し、ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入、バス停留所の上屋等の設置に要する費用の一部を補助します。	地域公共交通対策事業	①バス事業者が行うバス停上屋及びベンチの設置における事業費に対し、補助金を交付した。 ②SDGsやカーボンニュートラルの達成に向け、モビリティ・マネジメントの取組として「あつぎノーマイカーデー」を実施した。	バス停上屋又はベンチ設置箇所数	か所	1	2
			ノンステップバス導入台数	台	0	0
			ユニバーサルデザインタクシー導入台数	台	0	0
地域住民等の移動ニーズに対応するため、交通事業者が行う次世代モビリティシステムの導入を支援し、地域公共交通の確保・維持を図ります。	次世代モビリティシステム検討事業	次世代モビリティに関する研修会等に参加し、導入についての調査研究を行った。	次世代モビリティシステムに関するセミナー等への参加回数	回	8	8
厚木秦野道路の早期整備を促進するため、国の「用地国債先行取得制度」を活用し、国に代わって事業用地を先行取得します。	厚木秦野道路用地取得事業(用地国債)【公共用地取得事業特別会計】	厚木秦野道路の建設事業を強力に促進するため、国の用地国債先行取得制度を活用し、道路整備に必要な用地を国に代わって先行取得した。 ・取得筆数及び面積 18筆 6,032.15㎡	用地取得執行率	%	99.1	95.6
都市計画道路を整備し、安全で快適な市民生活を確保するとともに、交通混雑の解消を図ります。	街路整備事業	①都市計画道路厚木環状3号線において、13件の設計・測量等委託を実施するとともに、9件の整備工事を実施した。また、2件の継続工事の進捗を図った。 ②都市計画道路本厚木下津古久線において1件の委託を実施するとともに、3件の地盤改良工事及び1件の早期整備工事を実施した。 ③都市計画道路上今泉岡津古久線において1件の予備設計を実施した。	厚木環状3号線整備延長(L=1,700m)(2018-2023年度累計)	m	1,202	1,504
			本厚木下津古久線整備延長(L=1,700m)(2018-2024年度累計)	m	161	358

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ②	利便性の高い交通環境の充実					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
地域の主要道路として、地域間の連続性、通行の円滑性及び安全性等の観点から、計画的に拡幅改良を実施し、地域交通環境の有効な改善を図ります。	幹線市道新設改良事業	①金田妻田線において1件の道路改良工事を実施した。 ②白根才戸線において1件の設計委託を実施した。	整備延長	m	31	85
交通支障の発生する交差点等において、交通の円滑化を図るための改良を行います。 また、安全性を向上するため、即効性の高い交差点改良を実施します。	交差点等改良事業	(仮称)戸田バス停北側交差点において改良工事を実施した。	整備箇所数	か所	2	1
1・2級市道に係る歩行者の通行(通学路や公共施設周辺)の安全性に考慮し、計画的な歩道整備を実施します。特に、バリアフリーの視点から安全かつ円滑な歩行空間の確保に努めます。	歩道整備事業	※令和4年度から事業合併により通学路安全整備事業の一部となったため、歩道整備事業としての実績はなし。	整備延長	m	305	—
自転車ネットワークを構成する路線を対象に、安全で快適な自転車走行空間を創出するため、計画的に整備します。	自転車走行空間整備事業	市道辻戸室線において、自転車の走行位置を明示する車道混在型の路面標示等を実施した。	自転車走行空間整備延長	km	1.2	1
都市計画道路の整備に必要な道路用地の取得及び物件移転補償を行います。	街路用地取得事業	酒井長谷線等都市計画道路の整備事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	都市計画道路の用地買収着手路線数	路線	3	3
幹線市道、1・2級市道、一般生活道路の新設・拡幅などの道路改良事業に必要な道路用地の取得及び物件移転補償を行います。	道路整備用地取得事業	1・2級市道及び一般生活道路の新設、拡幅等道路改良事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	生活道路用地取得着手路線数	路線	19	26
			幹線道路等用地買収着手路線数	路線	3	—

具体的な施策 3	魅力的な生活圏を形成する					
主な取組 ③	憩いや安らぎの場の創出					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
里地里山の保全と再生の促進を図るため、保全活動を実施する団体に補助金を交付するほか、助言や相談など総合的な支援を行います。	里地里山保全等促進事業	活動団体との意見交換会を8月に開催し、現状や課題の把握に取り組んだ。また、市が認定する8団体に対して、補助金の交付や定期的なヒアリングなど活動支援を実施した。	里地里山保全等活動協定地の総面積	ha	6.7	6.7
			里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合	%	28.1	25.6
谷戸や水辺を再生し、多様な動植物の生育環境の再生・保全を図り、市民が自然観察や散策など、水辺と親しめる環境を整備します。	谷戸水辺再生事業	令和3年度事業終了	谷戸水辺再生箇所数(累計)	か所	4	—
恩曾川に整備された親水広場や善明川を活用し、近隣小学校の児童による環境学習を実施します。 また、相模川三川合流点地区において、水辺と人とのふれあいをより身近にする憩いと活動の場を整備します。	水辺ふれあい創出事業	①恩曾川及び善明川において、水辺ふれあい事業を実施した。 ・6月22日(恩曾川・地藏橋親水広場)増水のため中止 ・6月29日(恩曾川・高坪橋親水広場) ・8月31日(善明川・長坂山ノ根水辺の広場) ②相模川水辺ふれあい拠点創出事業については、地元と商業・観光等関係団体の代表者により構成された「相模川三川合流点地区利用調整協議会」を設置し、都市・地域再生等利用区域の指定を受けた。 ③相模川水辺ふれあい拠点の実施設計を担う業者を公募プロポーザル方式で選定をした。	親水広場を活用した環境学習の実施回数	回	1	2
			相模川三川合流点地区における水辺交流拠点整備の推進状況	—	民間活力導入調査、事業手法選定	関係機関協議
施設の老朽化や機能の低下、樹木により見通しが悪い公園等を安心して過ごすことができる公園として改修するとともに、健康増進やバリアフリー化等の市民ニーズに対応した公園として整備します。	公園緑地整備事業	①公園の整備等工事を実施した。 ・整備等公園数 33公園 ②防災ベンチを整備した。 ・設置公園数 12公園	新規・既存公園整備箇所数	か所	18	33
			防災用ベンチ整備公園数 ※カッコ内は総数	公園	1 (78)	12 (90)
「緑のまつり」を開催することにより、緑に触れ合い、親しみながら緑の大切さの育成を図ります。	緑を豊かにする事業	緑のまつりの代替事業として、花壇装飾、さつき盆栽や山野草の展示会、緑を豊かにする講演会等を実施した。	緑を大切に思う必要があると思うイベント参加者の割合	%	0.0	100.0

具体的な施策 4	自主・自立のまちづくりを推進する					
主な取組 ①	積極的な財源の確保					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
「第7次厚木市行政改革大綱実施計画」を着実に推進するとともに、市民の声を取り入れた効果的かつ効率的な行政運営を行うため、「市民参加型外部評価」を実施します。また、更なる業務の効率化や生産性の向上を図るため、RPA等の新技術を導入します。	行政改革推進事業	①市民参加型外部評価を実施し、事業の見直しを行った。 ・対象事業 7事業 ②業務の効率化及び生産性の向上を図るため、RPA及びAI-OCRの対象業務を拡大した。 ・RPA導入 20業務 ・AI-OCR導入 23業務	「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている」と思う市民の割合	%	33.9	29.5
			第7次行政改革の推進度	%	87.3	83.6
			RPA導入業務数（累計）	件	9	20
予算削減や財源確保の努力を評価する仕組みを研究するとともに、事業見直しに資する新たな仕組みを検討し、事業のスクラップ・アンド・ビルドや事業内容の見直しを積極的に行います。	事業の積極的な見直し	①予算編成方針に基づき、各課等から検討経過等を聴取し、事業の実績や社会情勢等を踏まえたゼロベースからの見直しを徹底した。 ②事務事業評価制度を構築し、試行実施した。	指標なし			
ふるさと納税の活用、広告掲載事業の推進及び国庫等補助金の確保等により、自主財源を積極的に確保します。	自主財源の確保	①広告掲載事業民間提案制度を創設し、民間提案の募集を開始するなど、自主財源の積極的な確保に努めた。 ②財政運営に当たり、コロナ収束に向かう中、国庫補助金等の特定財源を確保するとともに、税や料だけでなく、ふるさと納税や債券運用等自主財源の確保について積極的に取り組みを行った。 ・ふるさと納税寄附額（個人及び団体） 14億4,502万5千円 ・財政調整基金等運用収入額 1,906万2千円	指標なし			
債権回収業務のノウハウの共有、関係課の連携強化及び債権収納率向上のための研究を行い、市債権を確実に収納します。	市債権の収納強化	各債権所管課等による会議を行い、収納率向上に向けた課題の整理や取組についての情報交換を行うとともに、国民健康保険料及び介護保険料の滞納繰越分を全件移管し、徴収に取り組んだ。	指標なし			

具体的な施策 4	自主・自立のまちづくりを推進する					
主な取組 ②	庁内組織体制の最適化と人材育成					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
「厚木市人材育成基本方針」に基づき、「風通しの良い職場」、「キャリアプラン」、「意識向上」、「人事管理」、「人材確保」、「能力開発」の六つの視点から人材育成に取り組めます。	人材育成基本方針に基づいた取組の推進	①第7次行政改革の取組として、研修に参加しやすい環境整備に取り組むなど、職員の能力向上に努めた。 ②人材育成基本方針に基づき、庁内研修、派遣研修、職場研修を実施し、職員一人一人が職位ごとに必要とされる能力開発に努めた。	指標なし			
「第2次厚木市定員管理方針」に基づき、質の高いサービスを継続的に提供していくため、職員年齢構成の平準化及び人件費の抑制を図りながら、適正な職員数の確保に取り組めます。	定員管理方針に基づく取組の推進	①定員管理方針に基づき、業務量の増減に合わせ適切な定員管理に努めた。 ②11取組22項目のうち、実施に向け検討段階のものを除いた10項目20取組について、実施又は一部実施した。	指標なし			

具体的な施策 4	自主・自立のまちづくりを推進する					
主な取組 ③	公共施設の適正配置の推進					
取組内容	事業名	R4取組実績	取組指標	単位	R3実績値	R4実績値
「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の維持管理等費用の軽減・平準化を図るため、施設の設置目的及び利用状況等を考慮しながら、公共施設のより効率的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置を推進します。	公共施設最適化推進事業	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、対象となる事業の計画的な取組を推進した。また、計画に基づく取組の進行管理を行った。 ・対象施設数 3施設	第1期短期再編プログラムの進捗率	%	45.5	63.6